

## サービ斯拉ーニングの活動を通して学んだこと

社会福祉学部社会福祉学科 2年 桑野 泰文

活動先：NPO 法人 ベタニアホーム

クラス：村上 徹也 先生

私は、特定非営利活動法人ベタニアホームのデイサービスセンターベタニアとデイサービスセンターいききホームで活動をさせていただいた。今からこの 2 つの施設で私が学んだこと、感じたことを挙げていきたいと思う。

### ● SL を通して自分の成長と気づき

#### 1. 事前打ち合わせの必要性

私が第一に考える必要だと思ったことは、活動させていただく施設の人と事前に打ち合わせをすることである。今回私たちは事前打ち合わせの時に、いつ活動をさせてもらうかということと、持ち物はどんなものを持ってくるのかを確認した上で、施設内の見学をさせていただいた。さらに、当日に担当する利用者の方が認知症ならば、どのような認知症なのかということや、どんな会話が好きなのか等の情報を聞けるのならば、よりスムーズに実習に向かうことができるのではないかと考えた。しかし、利用者の個人情報を聞くことは重大なことなので、その場合はよく担当者の方と打ち合わせをしなければならない。

#### 2. 事前学習について

私はこのサービ斯拉ーニングに向けて事前学習している際に、自分が何を目的として活動をしているのかということを確認することが大切だと感じた。それは、打ち合わせの際に、担当者の方に自分がどんな活動をしたいのかということを伝えていなければよい活動はできない。そのために事前学習の時間に、施設がどんなサービスを行っているかということをよく知っておくことが必要だ。また、自分たちが行うレクリエーションはどうすれば利用者に喜んでもらえるか、参考文献などを調べるとよりよい活動ができると考える。

#### 3. コミュニケーションについて

サービ斯拉ーニングの活動で私が一番意識をしていたことは、利用者とのコミュニケーションをとることである。それは、利用者たくさんコミュニケーションをとることが、楽しく、充実した活動につながると考えたからだ。

しかし、今回の活動ではコミュニケーションを上手くとれなかった。それは、会話の得意や不得意、そして時間ごとに変化する利用者一人一人を理解していなかったからである。また、利用者のことだけを考えていて職員の方とのコミュニケーションをとれていなかったことが原因だと考える。

担当の方から話していただいた「すべての人が好きな会話は無い。一人一人にあったケアをすることが大切。」ということのをこれから大切にしていきたい。

#### 4. レクリエーションについて

私は、学生企画のレクリエーションを 6 日間させていただいた。この中で学んだことを挙げていく。まず、レクリエーションを実施してとても深く印象に残っていることは、紙芝居を読んでいるときに、私の場合はただ紙芝居を読んでいるだけで終わってしまったが、

職員さんの場合は途中で利用者に「この後の結末はどうなると思いますか？」などと、質問を投げかけながら読んでいたことだ。このことから私は、レクリエーションというのは自分一人でやるものではなく、利用者と一緒にやるものであるということを知った。次に、自主的にレクリエーションをすることの大切さを学んだ。それは、今回の活動の中でいつからレクリエーションをすればいいのかわからずただ座っているだけの時間があり、注意をされた。そして職員の方から教わったことは、レクリエーションをやるのはいつでもよく、利用者に満足してもらえたら空いている時間を利用して行ってもよいということだった。このことから、自分はこのサービスラーニングの活動で、利用者のことを考えていなくて、自分のことばかり考えていたのだと認識した。

#### 5. 地域密着型について

私はサービスラーニングの活動に加えて、もう 1 日ボランティアとして活動させてもらった。地域密着とはどのようなものかを知るためにお願いをして、特別に設けてもらったのだ。この日には、井戸端会議という集まりが近所の中学校であり、中学生やこの地域に住んでいる人たち、施設の方々が出席していた。この井戸端会議に出席させていただいたことから、ベタニアホームがほかの地域の人とどのように接しているのかということがわかった。また、12 月に開かれたクリスマス会にも参加させていただき、子供たちとも関わりがあるのだとわかった。

#### 6. 利用者との価値観の違いについて

利用者とのコミュニケーションをしていく中で気づいたことは、価値観の違いがあるということだ。人生の先輩である利用者との価値観がずれるということは仕方ないことだと感じたが、そこに私たちが合わせるという柔軟性をもつことが必要だ。自分の価値観を相手に押し付けるのではなく、利用者を受容しながら、利用者にあったそれぞれのケアをすることを学んだ。

#### 7. 活動報告会について

私たちが活動させていただいた 6 日間は、職員の方々の貴重な時間を割いて作っていただいた時間である。そこで活動報告会では、自分たちが学んだことを発表するなど、私たちが受け入れて無駄ではなかったと思っていただけるような発表をしなくてはならなかった。そのためには、グループの同じ人と活動の振り返りをしていくなかで、私たちが活動させていただいた後に書く活動記録と職員のコメントがとても重要であった。これを読み返すことで、まとめやすかった。また、活動記録は 3 年次にある実習の際にとっても重要になってくるので、今回その練習をできてとてもよかった。

#### ● 活動を通して見えてきた地域活動や社会活動

今回ベタニアホームで活動させていただき、地域活動をすることがとても大切だということを感じた。それは、サービスラーニングの活動で外出をした際に、ほかの施設の方に「前に働きに来てもらった方ですか？」ということを言われた。結果としては違ったのだが、これは私たち若い人に期待しているから声をかけていただいたのではないと思う。そして、私たちはそれにこたえるために、これからいろいろな施設で働かせてもらい、今回体験させていただいた恩返しをしていきたい。